

[成果情報名] 良食味で中生熟期の水稻奨励品種「きぬむすめ」の特性

[要 約] 水稻「きぬむすめ」は出穂期、成熟期が「あさひの夢」並から1日程度遅い中生熟期の粳品種である。玄米の外観品質は登熟期間が高温条件であった年次においても良好である。食味に優れ、収量も良好であることから、「あさひの夢」に替わる奨励品種とする。

[キーワード] 静岡県、良食味、奨励品種、水稻、きぬむすめ

[担 当] 静岡農林技研・作物科

[連絡先] 電話 0538-36-1558、電子メール agrisakumotsu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 水田・畑作物

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

平成13年に奨励品種に採用された中生の「あさひの夢」は縞葉枯病抵抗性と穂いもち抵抗性を持ち、収量性に優れるが食味評価が低い。このため、「コシヒカリ」を中心とした良食味米早生品種への作付偏重が生じている。そこで早生品種への集中を緩和するため、中生の良食味米品種を選定し、特性を把握した。

[成果の内容・特徴]

- 1 「あさひの夢」と比べて、出穂期、成熟期は1日程度遅い、中生の粳品種である（表1）。
- 2 稈長は「あさひの夢」より9cm高く、穂長は2.6cm短い。穂数はやや多い中間型である（表1）。
- 3 玄米千粒重は23.3gと「あさひの夢」よりもやや軽く、玄米外観品質はやや優る（表1）。
- 4 稈の太さ、耐倒伏性は「中」である（表2）。
- 5 いもち病真性抵抗性遺伝子は *P i i*, *P i a* を持つと推定され、葉いもち、穂いもちともに「中」である。縞葉枯病抵抗性遺伝子は持たない（表3）。
- 6 穂発芽性は「中」で「あさひの夢」と同等である（表3）。
- 7 食味は「あさひの夢」を上回る（表4）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 平坦地を普及対象地域とする。普及予定面積は1,500haである。
- 2 いもち病抵抗性は「中」、縞葉枯病罹病性のため適期防除に努める。
- 3 食味向上の目的から、多肥栽培は行わない。

[具体的データ]

表1 「きぬむすめ」の生育・収量

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏 ²⁾	精玄	同左	千粒重	玄米 ³⁾
	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/m ²)	程度	米重	比率	(g)	外観 品質
きぬむすめ	8.18	9.25	76	17.7	325	0.0	49.4	105	23.3	4.3
あさひの夢	8.17	9.24	67	20.3	311	0.0	46.9	100	23.9	5.3

1) 平成21年から23年の平均。移植期は6月1日～2日。

2) 0 (無)～5 (甚)の6段階評価。

3) 1 (上上)～9 (下下)の9段階評価。

表2 「きぬむすめ」の形態的特性

品種名	稈の		芒の		ふ先色	ふ色	着粒 密度	脱粒 難易
	細太	剛柔	多少	長短				
きぬむすめ	中	中	稀	短	黄白	黄白	やや密	難
あさひの夢	太	剛	少	短	黄白	黄白	やや密	難

表3 「きぬむすめ」の障害抵抗性

品種名	耐倒 伏性	いもち病抵抗性		縞葉枯病 抵抗性	穂発 芽性
		葉いもち	穂いもち		
きぬむすめ	中	中	中	罹病型	中
あさひの夢	強	中	強	抵抗性	中

表4 「きぬむすめ」の食味官能試験

品種名	評価項目					
	総合評価	外観	香り	うま味	粘り	硬さ
きぬむすめ	0.25	0.16	-0.06	0.20	0.19	0.07
あさひの夢	-0.11	-0.05	-0.10	0.07	0.00	-0.04

注) 平成21年から23年までの食味官能試験の平均。2～3反復でパネラー数は17～22人。場内産「キヌヒカリ」を基準(0)とする-3 (悪い、粘りが無い、柔らかい)～+3 (良い、粘りがある、硬い)の7段階評価。

[その他]

研究課題名：水稲・畑作物優良品種決定試験

予算区分：県単

研究期間：2009年～2011年度

研究担当者：石田義樹、外山祐介